

福島第一原子力発電所 1号機の原子炉格納容器内の
圧力を低下させる措置の実施について
(放射性物質を含む空気の一部外部への放出について)

平成 23 年 3 月 12 日
東京電力株式会社
福島第一原子力発電所

平成 23 年 3 月 11 日、当社福島第一原子力発電所 1号機（沸騰水型、定格出力 46 万キロワット）、2号機および 3号機（沸騰水型、定格出力 78 万 4 千キロワット）は定格出力一定運転中のところ、同日午後 2 時 46 分頃に東北地方太平洋沖地震により、タービンおよび原子炉が自動停止しました。

(お知らせ済み)

現時点において、1号機の原子炉格納容器内の圧力が上昇していることから、国の指示により、安全に万全を期すため、1号機の原子炉格納容器内の圧力を低下させる措置（放射性物質を含む空気の一部外部への放出）を行うことといたしました。

プラントの復旧に向け、全力を尽くしてまいるとともに、引き続き周辺環境のモニタリングを継続・監視してまいります。

以 上